

## 第1回議会基本条例特別委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年1月30日（金）午後1時0分
- 2 閉会日時 平成27年1月30日（金）午後1時45分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
  - 1 番 佐々木雄司君                      6 番 治徳 義明君                      7 番 原田 素代君
  - 10 番 松田 勲君                      13 番 福木 京子君                      15 番 岡崎 達義君
  - 18 番 小田百合子君
- 5 欠席委員
  - 8 番 金谷 文則君
- 6 事務局職員出席者
  - 議会事務局長 富山 義昭君                      主 査 大饗 剛君
- 7 協議事項
  - 1) 議会報告会について
  - 2) その他
- 8 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○委員長（岡崎達義君） 第1回議会基本条例特別委員会を開催したいと思います。

お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

金谷委員は先日も報告しましたように病気で欠席されております。よろしくお願ひします。

きょうは議会報告会の内容について審議していきたいと思ひます。

まず最初に、第2回赤磐市議会議会報告会開催のこのチラシについて皆さんから御意見をいただきたいと思ひます。

前文も変えて入っておりますので。

○委員（原田素代君） じゃあ、今回は有料で発注してるんですね。有料で発注して……。

○委員（松田 勲君） いやいやしてない。

○委員（原田素代君） 前回並み。

○委員（松田 勲君） 今回までは……。

○委員（原田素代君） そうなんですか。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

○委員（原田素代君） 余りしないほうがいいですね。

○委員（松田 勲君） 次回からまあ……。

○委員（原田素代君） そうですか、そういうふうには。

○委員長（岡崎達義君） 内容について検討をお願いいたします。

○委員（佐々木雄司君） いいですか、はい。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） この「議会報告会開催」の下の文字なんですけども、この中の4番目、「まだまだ十分とは言えませんが」って非常に謙虚でぜひ入れたい言葉なんですけど、なくてもいいのかなと。「昨年の報告会の反省の上に立ってよりわかりやすく」で十分気持ちは伝わるのかなと。皆さんどう思ひますか。文章が長くなると読みづらくなるんでという意味で。

○委員長（岡崎達義君） はい、わかりました。

○委員（佐々木雄司君） 気持ちが重複しているのもどうかなと。非常にわかるんですけども。

○委員長（岡崎達義君） これはカットさせていただきます。

○委員（福木京子君） その下の「努力してまいりたいと思ひます」で、「努力していききたいと思ひます」、どっちじゃろうな。

○委員（佐々木雄司君） こども「努力してまいります」でしょうね。「思ひます」じゃなく、「努力していきます」とか「まいります」とか。「思ひます」って、ああ思うんじやって話だから。

- 委員長（岡崎達義君） どうですか、それでよろしい。
- 委員（原田素代君） 凝りはありません。
- 委員（松田 勲君） 結局どうなるん、「努力してまいります」。「まいります」。
- 委員（佐々木雄司君） のほうが僕はいいと思います。
- 議長（小田百合子君） 「まいりたい」じゃなくてね。
- 委員（佐々木雄司君） 「努力します」でもいいですけどね。
- 委員（松田 勲君） 「いたします」じゃろ。
- 委員（佐々木雄司君） ああ、「いたします」。
- 委員（福木京子君） 「努力していきたいと思います」。
- 委員長（岡崎達義君） 決めてください。
- 委員（佐々木雄司君） 物すごくいいんです。短いほうがいいか。
- 委員（福木京子君） 短うしてもらやあええ。「まいります」。
- 委員（松田 勲君） 「まいります」でええ。
- 委員（福木京子君） 「まいります」。
- 委員（佐々木雄司君） ということになれば、上の使わんほうがええか。一番最後の「したいと思います」、「下記の要領で開催します」じゃないですか。「したいと思います」か。どっちでもいいですけどね。
- 委員（松田 勲君） 「開催いたします」じゃろ。
- 議長（小田百合子君） 「いたします」がいいやろな。
- 委員長（岡崎達義君） じゃあ、それでよろしいですか。
- 委員（松田 勲君） 短くしてちょっと大きくしようかね。
- 委員（原田素代君） そうですね、気持ちね。
- 委員（佐々木雄司君） 4文字ほどですからあんまり変わらん。
- 委員（松田 勲君） でも1行分ぐらいなっとる。
- 委員（佐々木雄司君） なりますか。
- 委員長（岡崎達義君） それから、日にちのところあたりは全部間違いないですか。
- 委員（松田 勲君） 日にちと時間と間違いないかな。場所と。
- 委員（原田素代君） 前回の山陽町は中央公民館の視聴覚室だったんですか。
- 委員長（岡崎達義君） そうです。
- 委員（原田素代君） 視聴覚室でやるのは……。
- 委員長（岡崎達義君） 視聴覚室でやるから机が全部整ってるから、事前に行けばいい。
- 委員（原田素代君） 前はぎっしりですよ。五、六人の議員がばっと前に。
- 委員（福木京子君） ああ、そうか。
- 委員（松田 勲君） ほな狭いなあ。

- 委員（福木京子君） 狭いなあ、ちょっと。
- 委員（松田 勲君） 会議室じゃねんじゃ。
- 委員長（岡崎達義君） 視聴覚教室でしたよね、この間。
- 議会事務局長（富山 義昭君） そうです。
- 委員（治徳義明君） 今回も。
- 委員（原田素代君） 今回もそうなる。
- 委員（松田 勲君） 会議室って書いとる。
- 委員（原田素代君） 中央公民館です。
- 委員（福木京子君） まあ、十分じゃなあ、あれをどけたら。机を2つ並べるんじゃな。
- 委員（佐々木雄司君） 一番前を1個あけたんでしたっけ。一番前だけあけたんでしたっけ。
- 委員（原田素代君） 座席のほうを。
- 委員（佐々木雄司君） そうそうそうそう。2番目からかけてくださいってやったんでしたっけ。どうだったですか。
- 委員（原田素代君） 近過ぎた。
- 委員（佐々木雄司君） そんなイメージが残ってないんで、1個あけたのかなあと思ったりして。
- 委員（治徳義明君） いやあ、そねえなことはしてねえ。
- 委員（佐々木雄司君） してないですか。
- 委員（治徳義明君） 何かようしゃべる人が一番前に……。
- 委員（福木京子君） ああ、自主的に座ったんじゃろう。
- 委員（佐々木雄司君） 僕も捕まって説教されたりした。
- 委員（治徳義明君） みんなが座らんかっただけじゃろ。
- 委員（原田素代君） まあ、余り前は座らないわね。
- 委員（松田 勲君） 近過ぎて。
- 委員長（岡崎達義君） よろしいですか、これで。
- 委員（原田素代君） 大丈夫だと思います。
- 委員長（岡崎達義君） はい、これで一応チラシはつくっていただきます。

松田委員はお手数ですけども、よろしくをお願いします。

それから、昨日北川議員からいろいろ質問がありましたけど、司会進行は事務局で可能かっていうのは、これはもう私のほうから答えまして、議員がやることだから議員でやりましょうということで納得していただきました。

それから、傍聴に来た議員はもう発言できないということは原則それでよろしいですね。

- 委員（原田素代君） もちろん。

○委員長（岡崎達義君） 行政関係については、質疑を事前に意見を出してもらってというのも、これもいろいろありますけれども、これについて皆さん御意見どうですか。

○委員（松田 勲君） ちょっと思うたんじゃけど。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（松田 勲君） 入るときに小さい用紙、これぐらいの用紙でも渡して、何か質問がある方はこれに書いてくださいという感じで渡しといて、30分説明するじゃないですか、説明が済んだ後1回ちょっと休憩を5分なり10分なりとって、そのときにある人はって回収して、その間に仕分けをして関係の委員会のほうに仕分けしてやるとか。なければその場で聞くとかにして、ある方はこの時間に事前に出してくださいと、書ける方という感じで。余り強制的じゃなくて。

○委員（原田素代君） 私もそう思ったんです。議会報告が30分あるので、受け付けのときにそれこそこの半分でもいいから、もしあればあらかじめいただいてもいいですよっていうことで30分報告を聞いた後に回収して、そのほうがやってみていいのかなと、まず。いいか悪いかわかんないけど、やってみる価値はあるかなと。

○委員（佐々木雄司君） 済みません、いいですか。

○委員長（岡崎達義君） どうぞ。

○委員（佐々木雄司君） 基本的に僕は質疑を受けるっていうことに余り否定的なんですよ。よく思ってないんです。というのが、そういう場所ではないので。オプション的なもので、聞けるのであれば聞いてあげればいいぐらいに思ってるんですよ。というのは、各議員がいるわけですから、議会報告会を聞いていただいて、後ほどまた議員にお尋ねいただいてもいいわけで、議会にお尋ねいただいてもいいわけで、その場所で何でもかんでもやらなければいけないというふうには思わないんですよ。

それはそうとして、その紙を配ると出てきますよ、たくさん。発言するのが面倒くさいとか、勇気がなくて発言しなくて黙っている人たちも、紙だったらということで書いてくるんですよ。その分に対応しようっていうことになったらまた大変なっていうか。だから、なるべく……。

○委員（松田 勲君） だから、質問っていうのは各委員会の報告した内容について質問があったら書いてくださいとしといたら、限定しとったら。

○副委員長（治徳義明君） じゃけど、事前にわからないわけですから。

○委員（松田 勲君） 聞いとる間にメモ書きでいいから書いてくださいという感じで、簡単に書いてくださいって言ったら、何々について詳しいことが聞きたいとか何でもええから。そのぐらいだったら30分の……。

○委員長（岡崎達義君） ただ、それだったら用紙を配るわけだからその用紙にメモ書きしたものをしゃべってもらってもいいわけだし。

○委員（松田 勲君） まあ、そうだね。それでもいい。

○委員長（岡崎達義君） ただ、その場合に佐々木委員が言われたように、原則こちらの報告ですから報告に対する質問という形があればいいけど、行政に対する質問っていうのも出てくるわけですよ。その場合、書いてもらおうと出てきたものを完全に否定してしまうわけにもいきませんから、そこらあたり難しいかなとは思うんですけどね。

はい、治徳委員。

○副委員長（治徳義明君） 要は、書いた紙が仮にたくさん出てきたときに、質問とまた二重になってしまって、書いたことに答弁してなかったらまたどうのこうのという話になるんで、ややこしいことをしないほうがいいですよ。

○委員（佐々木雄司君） そう、シンプルがいいんですよ、もう。報告は報告だけで。

○委員（原田素代君） そんなに恐れるほど出てこないんじゃないかなと。私の中では発言するつもりの人がちょこっと書いてくるぐらいで、そんな山ほど出てこないだろうっていうのが一つあるのと、割とそういう手法が最近のいろいろな講演会とかでは取り入れられてるし。趣旨は恐らく効率化だと思うんです、さばくという意味。それとあと、少しでも聞いてみたいけど臆する人がメモで聞けるんなら無記名で聞いてみたいと思うようなのは出てくるかもしれないし、そういう意味では一度やってみるという意味で参加者の人のアンケートにもそこを入れたらいいと思いますよ。方法としてこういうふうに変更したみたけど……。

○委員長（岡崎達義君） だから、今回アンケートをもう一回出すわけですから、そのときにそういう提案も一応アンケートに載せたらどうですか。たくさんの方がそれにぜひやってくれというのがあればやればいいし。

○委員（原田素代君） それはやったことのアンケートのほうが生きるよ。将来やるかやらないかじゃ……。

○委員長（岡崎達義君） それでもやってしまうと同じようなことを続けていかないとだめになってしまうから、一旦やってしまうと後そういうことは引き返せなくなるから。

○委員（原田素代君） それは幾らでもやりようはあると思うけど。

○委員（松田 勲君） この前感じたのは、同じ人が何回も質問したりとか長く引っ張ったりとかされてるところがあって、次にやっても多分同じ人が手を挙げて何か言うんじゃないかなと。それよりはさっき言われた、なかなか勇気出せんけど無記名で出せるんならという感じだったら書ける人、せっかく来たのに何も言わずに帰るのもかわいそうなけど、書いて出したら一応来てよかったなというイメージがあると思うし。だから、限定する部分は3委員会の発表が始まる前に発表しますけど、その中で御質問があれば簡単に箇条書きでいいですから書いてくださいというふうに言うといったら書ける方は書いていただける。

○委員長（岡崎達義君） 質問の内容っていうのを限定しとく。

○委員（松田 勲君） もし時間がそれで余るようだったらその後何か御質問があれば言って

くださいと。ただ、報告に対しての質問をメインにできるように。

○委員長（岡崎達義君） 報告に対してのね。

○委員（原田素代君） だから、挨拶があるんだから、5分間。そこで、今回そういうこと取り入れて試行してみますと、で、好評でしたら続けますし、余りいいことにならなければまた新しいことを考えますぐらい保険で掛けとけば、したからといって……。

○委員（福木京子君） ごめん、ほしたら何人かそれが出てきて各委員会に関係のあるところへ見るわな。ほんで、どういうふうに持っていくわけ。

○委員（松田 勲君） それに対して順番に各委員会からこういう質問をいただいておりますって……。

○委員（福木京子君） こちらがこういう質問を読み上げて。こちらが読み上げるん。

○委員（松田 勲君） 読み上げて、それで……。

○副委員長（治徳義明君） ただ、それも一緒ですよ。簡単に書けというたら簡単に書くわけですから、それをまた説明すればそんな意味じゃなかったんじゃないとかそういう話に。余計ごたごたごたするんじゃないと思うんですけどね。

○委員（佐々木雄司君） せんがええよ。

○委員（福木京子君） たくさん出たらある程度みんなに平等にしたげにゃあいけん。

○委員長（岡崎達義君） 確かに平等っていう意味では確かに平等になるかもしれないけど、治徳委員が言われたように、簡単にこれについてっていうふうに書かれたらどこまで説明していかってというのがわからないから、いやいや、私はそんな意味で言ったんじゃない、もっと深くこうこうこういうことについて説明したいんだということになると、またその人だけに時間をとってしまうことになるし、そこらあたり……。

○副委員長（治徳義明君） 発言したい人というのが、結局熊山でありましたけど、9時過ぎぐらいまで。してくれえ言われるから、議員さんもう時間なしでしてくれえ言われるから、僕は司会してたんで、最後まで意見がなくなるまでしたんですけども、最終的にアンケートを見ましたら意見を聞かないというふうなアンケートもあったんで。要は意見はありませんかというて何度も聞いてもうありません言われるんで最終的に締めさせていただいたら、アンケートの中にはやめてしまうとかというような御意見もあるんで、それはもうそこまではできないんじゃないですかね。

○委員（佐々木雄司君） いいですか。

○委員長（岡崎達義君） 佐々木さん。

○委員（佐々木雄司君） そもそも議会報告会次第で開会の挨拶5分、出席議員御紹介5分、議会報告30分、質疑応答45分ですよ。何で報告より質疑応答のほうが多いんですか。今この中で話をしているのは質疑応答の話ばかりで、質疑応答をメインとするものじゃなくて報告をメインとするもんですから、逆にこの議会報告をもっと色濃くしてあげる、そういう議論の

ほうが僕はいいんじゃないかなと思うんですけど、ふさわしいと思うんです、この場所の。

○委員長（岡崎達義君） 確かに正論です。

○委員（原田素代君） いや、私はそう思わないんです。この議会報告会の意味というのは、一方的に議員がこういうことをしておりますというだけの場ではない、もともとの趣旨がそこではないと思うんです。要するに、そういうことを伝えて地域の方たちがそれを聞いてどう感じてもらってるのか、もしくはもうちょっとこういうことについて目を向けてほしいということがあるのか。要するに、コミュニケーションの場だと思ってるんですよ、こちらが出向いていって。だから、そのためには、だって別だったら議会広報もあるわけだし、インターネットでも出してるわけだし。だけど、生の人間が現場に行って直接市民とそういうやりとりをするってことは、市民にとっては開かれた議会だし、身近な議会だし、物が言える議会になるんだろうと私は思ってて、基本条例の精神の中にもそこがあるから議会報告会の意味があるんだと思ってる。だから、一方的にこっちが発信して聞き分けといて、じゃあ帰るぞじゃないと思う。

○委員（佐々木雄司君） いや、だからその割合の問題で、質疑応答がメインとなるようなそういう方向性に話になりつつあるからもう一回話戻しましょうって言ってるだけで。だから、原田さんがおっしゃられてることにに関しては全く同感だし同意の部分なんです。ただ、そのところをメインに置いてしまったらまた内容が変わってしまうのかなと思って。で、議会報告会がなかったら市民の方々と交流がとれないのかということとそうではなくて、別にここの場所の中でする必要もない。

○委員（原田素代君） はい、済みません、いいですか。

○委員長（岡崎達義君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そういうふうに言うと身もふたもないという話ですから、基本条例で議会報告会を義務づけてやりましょうということだから、それに沿ってやればよいと思うんですね。

質疑のことを議論するっていうのは私は逆だと思ってる、議員の私たちが余り来られちゃ困るなっていうからそこに私たちが問題がってるだけの話で、私たちはそれぞれの10分間という時間の、だって長かったら、3つ委員会が20分も30分もあつたら大変でしょ、聞くほうも。だから、やっぱりコンパクトに10分というのが常識のボリュームだろうし、そこには全力をそれぞれの委員会がかかるわけですよ。その上で、そういうことについて多くの人からいろんな意見を聞いてやりとりができるっていうのが目的なんだから、私たちが余り質疑におびえる必要はないし、要するに私たちはもう申し合わせしてるんだから、この報告についての御質疑を賜りますと、答えられる範囲で答えますと。個人の意見は残念ながら発言できませんから、その枠の中で私たちは対応するだけなのだから、どんなに来ようが、どんなにどなられようがそこは大人の対応をするだけの話なんで、そんなに多く来るだの何だのってこちらが構える必要



はないと思うんですね。

○委員（佐々木雄司君） いや、別におびえているとかということではなくて、どなり声が、怒号が飛び交わないように、みんながにこやかに帰ってもらえるように気を配ろうと思うと、いろんな意見が出てきたものをさばかなきゃいけなくなってくるわけですよ、平等に。1人の人が5分、10分しゃべる、ほかのしゃべりたい人がしゃべれないようじゃいけない、そうなったら時間がどんどんどんエンドレスに大きくなって行って、結局みんなが迷惑するようなことになるんで、だからおびえるのではなくてみんながにこやかにいくようにある程度議場の整理でよかったですね、場所の整理をもうちょっとできるようにするためにはこの時間がちょっと僕は長過ぎるんじゃないかなと、こう思ってるだけなんです。

○委員（福木京子君） 私は原田さんの意見のあれで、10分、20分、30分あれして質問があってさらにこちらが答えることで深まっていくんですよ、いろんな問題が。市民がわかりにくいことを、聞いてみたいことを質問するわけで、それでわかりやすく審議したことを返していくということではいろんな問題が深まっていくと思うんで、45分のあれというのは非常に大切な時間だと思います。

○委員長（岡崎達義君） ただ、議会活動について我々は報告するわけでしょ。市民の方がその議会活動について質問してくださればいいんだけど、議会活動以外の行政のすべきことについての質問のほうが多いわけですよ。我々は行政のことについてはほとんど答えられませんよね、細かいとこまでは。だから、行政がいろいろな議案を提案してくる、その議案に対して我々がこういう審議をしましたっていうことがメーンの報告会になるはずなんだけど、市民の人にとってみたら行政がどういうことをしてくれるんだ、我々に、今までどういうことをしてくれたんだ、そういうことに対する質問しか今までなかったわけです。だから、そこをよく考えながら我々も報告しなければならないっていうところがあるから、佐々木委員が言われたようなことになってくるわけですね。だから、原田委員が言われてるのもわかるし、佐々木委員が言われてるのもわかるし、だからその折り合いをどうつけるかっていうことですね、問題は。

○委員（佐々木雄司君） だから、バランスっていうか割合の話なんだと思うんですよ。だから、45分は僕は多過ぎるし……。

○委員（松田 勲君） それは、45というのはマックスの話だと思います、基本的には。10分、10分、10分で30分やって質問がなかったらそれで終わるわけよ。でも、多分あるだろうけど。最悪、さっき9時過ぎたって言われるけど、本当はこの時間で終わりですよ、会場の都合もあるし切れるタイムのマックスをここにしとんじやということで、それを何も無いのに45分引っ張る必要もないし、あっても45分ですよ。でも、この最初の30分はきちっとやらせていただきますよという部分だから、理解してください。

○副委員長（治徳義明君） じゃから、佐々木さんが言われるように時間を長くしてしまった

ら議題以外の、現実前回もそうでしたもん。議題以外の要望がもう次々と出てきて、そういう話は全部持ち帰って議長に報告しますでは市民の人に納得していただけないので、ベテランの議員さんが差しさわりのない話をして、最後にその問題はと、そういうことをしないと、はなからその議題は議長に持ち帰りますじゃ、そういう話ばっかししてたら議会報告会そのものが何じゃあという話になってしまうんだらうとは思うんで。

○委員長（岡崎達義君） はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） もうまさに僕も同じことを言いたいところなんですけど、じゃあ質疑応答の機会がこの機会しか、議員と触れ合う機会がこの場しかないんだって言われれば、当然ながらそりゃあ30分だろうが40分だろうが時間がとれるだけとらなきゃいけないですけども、そうでなくてみんなも市民の間に住んで、同じところでスーパーで買い物をして、コーヒーでも飲めば横で一緒に飲むようなことも隣り合わせであるわけじゃないですか。身近な存在なんですから、もっとこういうところだけということではなくてほかのところも当然ながらあるんで。アンケートのほうも配るじゃないですか。そういったところに質問事項とかあったら書いていただいて、またそれをホームページとかで前回とかもお答えしてるわけですから、そういう対応でいいんじゃないかなと思うんです。45分はそりゃあマックスって言いますが、45分マックスにしてたら45分がマックスですよ。30分だったら30分がマックスなわけですよ。だから、その……。

○委員（松田 勲君） まあ、30分というのはちょっと短いかなと。だからマックスと思うて、切りやすい時間にしとかんといけんと思うよ。だから、8時半になったら終わりますっていう形に最初から何度も途中で言っ、時間が参りましたんでという話で切れるが。じゃないと、そりゃあどんどんどんどんいってしまうし、逆に短か過ぎても、そんなじゃあ何もできんがとか言われてもいけんし、45分というのがちょうどいい時間だと思うけど。

○委員（佐々木雄司君） だから、アンケート用紙もあるし、何かあればお近くの議員さんということで話を締めればいわけだから。

○委員（松田 勲君） だから、あくまでも今ここでやってるのは、いろんな考え方を持ってる各委員会それぞれみんないろんな立場の方がおられるんで、ここでは個人的な意見は差し控えてくださいと、また個人的にそれぞれの議員さんに伝えてくださいと。

○委員（佐々木雄司君） 何かあればね。

○委員（松田 勲君） というふうに終わらんといけんと思う。

○委員長（岡崎達義君） そこらあたりは司会の方が。

○委員（松田 勲君） 司会でその辺まとめていかにゃあいけんから。

○委員長（岡崎達義君） それしかない。

○委員（原田素代君） 特に偏った発言を上手に……。

○委員（松田 勲君） そうそうそうそう、振り分けていかにゃあ。

- 委員（原田素代君） ちょっと御遠慮くださいとか……。
- 委員（松田 勲君） 司会が大変じゃけどね。
- 委員長（岡崎達義君） 昨日は1人3分言うたんですけど、しゃべりたい人がいるだろうから5分以内ぐらいでね、マックス。
- 委員（原田素代君） 3分にしても5分しゃべる……。
- 副委員長（治徳義明君） いやいや、議論になってくるわけです。熊山なんかでは診療所の難しい問題があったんで、それが議論に。説明して、はいというて納得していただければいいんですけど、またそれは違うんじゃないですかというて。
- 委員（松田 勲君） 病院の問題はあったけど、行政も何回も時間をとってやっとなのになかなか進まなかったりもあるし。だから、僕らが45分やったからってできるわけじゃないですし、その辺は向こうもわかっとなと思う。
- 委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。
- 委員（福木京子君） 結局地域性があるんじゃない。やっぱりやってみてそういうことがわかるし、それで時間を45分云々じゃなくても30分でもちょっと委員会によったら長かったとこもあつたりで、だからきっちりその時間いかんから柔軟に対応して、報告が30分よりちょっと長かったときもあるんよ、それでこちらが短うなつたりで。まあ、大まかに一応30分、45分と決めといていろいろしょうたら大体いい時間になるんじゃないですか。大体1時間半ぐらいは見たほうが。せっかくするんだから。
- 委員（松田 勲君） だから、基本的には中身は8時半には終わる予定にしておりますから御協力くださいにしとけば。
- 委員（原田素代君） 会場の都合がありますので。
- 委員（松田 勲君） 遅くともというて言うときゃええが。それが30分がちょっとずれる可能性が高いと思うんじゃないけど、ずれても文句言われんと思うしね。で、残りの時間をそういった質問すりゃあええし。
- 委員長（岡崎達義君） まあ、また変えればいいんじゃないから、佐々木委員、とりあえずここでやってみましょうや。
- 委員（佐々木雄司君） ああ、別にいいですよ。
- 委員長（岡崎達義君） 別にこれを渡すわけじゃないですから、だから30分の時間が35になるか40分になるかわかりませんからそこらあたりは……。
- 委員（松田 勲君） 終わりの時間だけ、遅くとも8時半には終わりたいと。
- 委員（佐々木雄司君） ただ、質疑するところくなことにならんからなというところがあつて。
- 委員長（岡崎達義君） わかります、わかります。
- 委員（原田素代君） 昨年のそれぞれの場所によって、え、もう終わるのかなというような

ところが多かった。

○副委員長（治徳義明君） 要は中央公民館のときに8時半で切ったんですよ。

○委員（原田素代君） ああ、そうなんですか。

○副委員長（治徳義明君） 強制的に切ったんです、時間きましたからと。それが伏線にあって、まだしゃべりたい人がいらっしやったのに、8時半という申し合わせだったんで、やっぱりここでやめさせて。その次のときに8時半で終わりかけたら、いやもってって議員の方も言われるし、市民の方も言われるし。

○委員（松田 勲君） まあ、議員は切らにゃあいけん。初めてじゃからいろいろあるけえ。

○委員長（岡崎達義君） 徐々に徐々にうまくなっていくでしょう。

ほんなら、そういうことで報告会の次第についてはこれで一応いきたいと思います。

ほかには何か。

○委員（佐々木雄司君） メモは渡すことになったんですか。

○委員長（岡崎達義君） いや、もう渡さ……。

○委員（佐々木雄司君） 渡さない。

○委員長（岡崎達義君） ないでおきましょうや。

○委員（佐々木雄司君） ああ、そうなん。

○委員（原田素代君） また、先がありますからそうしましょうか。無理強いは言いませんから。

○委員長（岡崎達義君） いや、だから参加者の中でメモぐらい渡してほしいなっていうような意見があれば次からまた検討すればいいことで。

○委員（原田素代君） アンケートの中でね。

○委員長（岡崎達義君） アンケートの中で。だから、こちらから先にやらずにおきましょうか。

○委員（福木京子君） アンケートの中でやり方について何やらかんやらあれば。

○委員（佐々木雄司君） 質問しやすいですか、しにくいですかって聞いてみてよ、これ。

○委員長（岡崎達義君） そうですね。

○委員（佐々木雄司君） 質疑の時間はどうですかとか。

○委員長（岡崎達義君） それで、またアンケートも書かないとだめなんですけど、前回のアンケートに幾分か足すようなこともなってくると思うんですけど。

○委員（松田 勲君） 今回が何回目かぐらい書いとけば。

○委員（原田素代君） 参加が今回初めての方と前回も出たかどうかっていうのも知りたいね。

○委員（松田 勲君） そうですね、知りたいですね、リピーターがおるかどうか。

○委員（原田素代君） そうそう。

○委員長（岡崎達義君） 前のアンケートがどこいったじゃろうかな。持ってられる。

○副委員長（治徳義明君） いや、持ってないです。

○委員（松田 勲君） 報告会を何で見たかというのがこの前あったっけ。

○委員（佐々木雄司君） 何かありましたね。

周知の方法について話し合いしましょうっていうことを委員長が言われてましたけど、商工会とか補助金を受け取るような団体の広報を使って情報発信するみたいな。

○委員長（岡崎達義君） これはこないだ誰がつくったんでしたっけ。

あった、あった。ありました、ありました。これでしょう。ちょっと違うんか。

○委員（原田素代君） 最終的にはまた変わった。

○委員長（岡崎達義君） 最終的にはね。今度は前回のアンケート結果についてのことを入れればいいのね。

○委員（原田素代君） 前回のアンケートですか。

○委員長（岡崎達義君） じゃから、1回目の。

○委員（福木京子君） 参加されたかどうか。

○委員長（岡崎達義君） 参加された方とか。またつくってきましょうか。

○委員（原田素代君） 佐々木委員から周知方法だって。

○委員（佐々木雄司君） 周知方法。商工会とか補助金の。

○委員長（岡崎達義君） ああ、何か言われてました、前。

○委員（佐々木雄司君） 団体を通じて広報、情報発信してみませんかやつ。

○委員（原田素代君） これの配布ですよ、結局。

○委員（佐々木雄司君） 会報に織りませてもらって、今度やりますよっていうお知らせを、農協さんとか。

○委員（松田 勲君） 全戸に一応配布になるけど町内会の回覧板とかもどなんじゃろうか、直前にね。

○委員（原田素代君） 前もその話をしたよ。

○委員（松田 勲君） 入ったかな。

○委員長（岡崎達義君） この間の委員会のときに話したんかな。

○委員（原田素代君） 回覧してもらったの。

○委員（松田 勲君） 見なかった気がする。

○委員長（岡崎達義君） 見てないな。

○委員（原田素代君） じゃあ、あれは町内会長の判断でしょう。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 済みません。前回そのお話をいただいた後で総務のほうに確認をとりまして、最終的には吉井のほうは回覧をしていないということで。吉井地域は回覧をしてないそうでした、全体的にできないということで最終的には全戸配布のみという形には

させていただいております。

○委員（原田素代君） でも放送はありますよね、吉井も。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 行政無線のほうも確認をさせていただいて、そういったことには使うのは差し控えていただきたいということで、使えないということで。

○議長（小田百合子君） 赤坂なんか誰が死んで、葬式が何時だとか放送してるよ。

○委員（原田素代君） してるよ。誰がそんなこと言うん。だってそれこそ使うべきものじゃないと思うけどなあ。

○委員（佐々木雄司君） 市の条例に定められてることの告知ですから、市行政と一緒にしよう。

○委員（原田素代君） 何で控えてもらいたいって言う……。

○委員（佐々木雄司君） 議会が勝手にしてるわけじゃない。

○議長（小田百合子君） 町内会やら区が勝手に使う分に頼むのはいいから、区長や町内会長の判断じゃないん。

○委員（原田素代君） いや、だって控えてほしいって言うのは窓口がそう言ったんでしょ。各区長が言ったわけじゃないんだから。

○議会事務局長（富山 義昭君） 一斉は無理です。

○委員（原田素代君） でも、この間山陽小学校の防災訓練のとき赤坂全部流れましたよ、あれ。

○委員（佐々木雄司君） 市の広報車で回りゃあいじゃないですか。使わせてもらえんの。だから、それが考え方で、議会が勝手にやってるわけじゃなくて条例に基づいてやってるわけですから。正味の話どうなんですかね、僕はそこら辺のかかわり合いというのがよくわからないんですけど、僕が感じるのに行政がやることと一緒にですから。だから、当然ながら市役所の広報の車を使わせていただけるんだと僕は思うんですけど。

○委員（松田 勲君） 例えば、今、ごみステーションにいろいろうちらも張ったりするんじゃないけど、町内、区長会にお願いしてごみステーションに張らせていただこうかと。

○委員（佐々木雄司君） 誰が張るんですか。

○委員（松田 勲君） 張っていただく。ラミネートしてぼんと張って。結構……。

○委員（佐々木雄司君） ごみステーションはね、みんな。

○委員（松田 勲君） それ見る。

○委員（原田素代君） 週2回は見るわな。

○委員（佐々木雄司君） 行政の車は使わせてもらえないですか、広報車。

○委員（松田 勲君） しても余り聞いてないと思う。家の中おったらわからん。

○委員（原田素代君） それこそごみステーションのほうがあると思うな。

○委員（松田 勲君） ごみステーションのほうがあると思う。多分見るもん、何じゃ

ろうて。

○委員（佐々木雄司君）　　というか、気持ちと姿勢として告知に努めてますよということ、こんなこともやってます、あんなこともやってますと、数が多けりゃ多いほどいいわけですから。

○副委員長（治徳義明君）　　じゃから、佐々木さんが言われるように社協じゃとかああいうとこへ渡すというのは効果大きいと思いますけどね、僕はよ。

○委員（佐々木雄司君）　　シルバーさんとかね。

○副委員長（治徳義明君）　　来ていただくんであれば。

○委員（松田 勲君）　　それやってみようや。

○委員長（岡崎達義君）　　公共施設へは置かせてもらえるんですよね、置くのはね。だから、チラシをたくさんつくって何だったら張って……。

○委員（松田 勲君）　　張ってもらうのが一番ええ。

○委員長（岡崎達義君）　　張ってもらうとか。公共施設だったらいいわけだから。

○委員（原田素代君）　　ラミネートしてあげないと、これね。雨、風が当たるところにはこれを張るわけにはいかないから。

○委員長（岡崎達義君）　　こういうのに入れたら。

○委員（原田素代君）　　まあ、それもそうだけど。

○委員（松田 勲君）　　拡大版にこれして張っとくとか。

○委員（原田素代君）　　ラミネートってかなり経費かかるの。

○委員（福木京子君）　　そりゃあ、100円ぐらいはかかるじゃろう。

○委員（原田素代君）　　そんなにかかんないじゃろう。

○委員（松田 勲君）　　A3大に拡大してラミネートして。

○委員（原田素代君）　　ラミネートは幾らするん。

○委員（松田 勲君）　　ラミネート安いよ。

○委員（原田素代君）　　安いよね。

○委員（松田 勲君）　　僕持っとるけど。

○委員（福木京子君）　　どれぐらいする。

○委員（松田 勲君）　　1枚。機械がありゃあ、機械自体は1万円そこらじゃけえな。

○委員（原田素代君）　　A3ぐらいまでできるの。

○委員（松田 勲君）　　A3までであるよ。A3までできるやつじゃけえ。この大きさまではいけるから。

○委員（原田素代君）　　そんな高くないよね、何円ぐらいでしょ。

○委員（松田 勲君）　　1枚じゃろ。そんなもんじゃ。

○副委員長（治徳義明君）　　何円ということは……。

- 委員（松田 勲君） 何円ということはねえかな。大体100枚入っとる。
- 委員（原田素代君） 機械を持っていれば安いよ。
- 委員（松田 勲君） 業者に頼んだら高いよ、そりゃあ。
- 委員長（岡崎達義君） どうするの。ラミネート加工したものを張る。
- 委員（原田素代君） だから、それ用にさっき言ったごみステーションにする分だけはその枚数をそうやったら。
- 副委員長（治徳義明君） そりゃ、相当の枚数でしょう。
- 委員長（岡崎達義君） 物すごいあるよ。張るだけで物すごい手間がかかる。
- 議長（小田百合子君） 町内会の役員を動かすことになるからね。
- 副委員長（治徳義明君） ごみステーションに張るとするのは、全エリアそういうことをしとるわけ。
- 委員（松田 勲君） うちの、ネオポリスはしとるよ、結構。
- 副委員長（治徳義明君） 松田さん、何か議会質問しようりましたよね、それ。
- 委員長（岡崎達義君） だから、行政のことは行政が、連絡員がしてくれるけど、議会のことは議員がしないとだめだから、議員がするというたとしてもじゃないけど無理。だから、佐々木委員が言われたようにたくさんの方が来る公共施設へ小さいのを張って、下にチラシを置いてくとか、持って帰ってもらうとかするんだっただけでできるだろうけど。
- 委員（松田 勲君） まあ、まずそれやってみようや。それだけやってみよう。
- 委員長（岡崎達義君） まずそれだけでいいと思う。
- 委員（福木京子君） 公共施設でもちょっと目立つように、特別にすんじやったら色を変えたりして、ちょっと目立つようにする分を1枚か2枚張りゃあまた……。
- 委員（原田素代君） いわゆるポスター。
- 委員（福木京子君） ポスターじゃ。結局ポスター、ポスター。
- 委員（松田 勲君） 拡大コピーしてね。データじゃからそのまま出ると思う。拡大コピーせんでもA3のコピー出るから。
- 委員長（岡崎達義君） そりゃあ、もう10枚や20枚じゃったらカラーコピーでも知れとるし。
- 委員（原田素代君） 前回だって図書館とか置いたんじゃなかったっけ。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） 支所とかには置きました。
- 副委員長（治徳義明君） するというて要は誰がするんという話なんでしょうけど。
- 委員長（岡崎達義君） データさえくれれば私カラーコピー持っとるから。
- 委員（松田 勲君） いや、カラーコピーじゃもったいない。元がモノクロじゃから。  
そりゃあ、事務局で出るがんなあ。データをA3拡大してすぐ簡単に出るから。
- 委員長（岡崎達義君） ほんなら、今回はそれにしましょう。



- 委員（原田素代君） それで、張るのはみんなで分担するわけね。
- 委員長（岡崎達義君） 知れてるでしょう。だから……。
- 委員（原田素代君） 公共施設となればね。
- 委員長（岡崎達義君） 赤坂なら赤坂の……。
- 委員（原田素代君） 郵便局とか。
- 委員（福木京子君） 議員が届けて、張ってくださいというてお願いしに行くわけじゃな。
- 委員（松田 勲君） 何カ所ぐらいあるん。
- 委員長（岡崎達義君） だから、福木委員だったら公民館とあそこの社協のとことか。
- 委員（松田 勲君） 何枚ぐらい要る。何カ所ぐらい。
- 委員（原田素代君） 申告してもらえばいいじゃない、各町単位で。数えられるよ、自分のところなら。
- 委員長（岡崎達義君） 20カ所、二、三十カ所じゃないん、張れるようなところは。
- 委員（原田素代君） そんなにない赤坂は。
- 委員長（岡崎達義君） そんなにないか。
- 委員（原田素代君） ああ、赤坂は。だから、山陽エリアは多い。あと店舗とかね。  
マックスバリュとか、あそこは張ってくれるよ。
- 委員長（岡崎達義君） 私立の施設はちょっとやめとこう。
- 副委員長（治徳義明君） 相当の枚数になってまうわな。
- 委員長（岡崎達義君） そこらあたりも考えてみましょう。
- 委員（原田素代君） ポスターのようにしたものをそれぞれ手分けをして、でいきますか。  
コミュニティハウスなんか入れたら多いか。
- 委員長（岡崎達義君） ほかには何かありませんか。気がついたことを何か。  
はい、どうぞ、原田委員。
- 委員（原田素代君） 私の印象で、最初の開会の挨拶のところでこれとこれとこれは絶対言ったほうがいいよっていうのを共通に押さえたほうがいいと思うんですね。私の印象では岡崎さんが班長の班の挨拶と、金谷さんの班の班長の挨拶では大分、ああ違うなあって感じたんですよ。今確認したように例えば閉会の時間の説明だとか、それから質疑については私たちの報告に関するところでの質疑ということできせていただきたいとか、あらかじめ言っとけば先ほども申しましたようにということでも言えるし、最初に押さえておくことだけは、これだけは言いましょうと、挨拶の中で、つくっといたほうがいいなあと。
- 委員長（岡崎達義君） 挨拶をほぼ同じようにしたほうがいいよね。
- 委員（原田素代君） まあ、時候の挨拶以外はね。つくっちゃってもいいね、だったらね。
- 委員（松田 勲君） 基本のベースをつくっときゃいいですね。
- 委員（原田素代君） そうそうそうそう。

- 委員長（岡崎達義君） ほんなら、それお願いします。
- 委員（原田素代君） 大分、岡崎さんと金谷さんの挨拶聞いてて、ああ違うなあと思って。
- 委員長（岡崎達義君） 挨拶、ほぼ同じように。
- 副委員長（治徳義明君） 5分分書くわけ。
- 委員長（岡崎達義君） いやいや、5分もかからん、二、三分……。。
- 委員（原田素代君） いやいや、そうじゃなくて。今言ったように申し合わせのね……。
- 副委員長（治徳義明君） 箇条書きでええわけじゃろ。
- 委員（原田素代君） そうそう、それを上手に言ってもらえばいいんじゃない。1人3分ぐらいを見当に偏らずにとか。
- 副委員長（治徳義明君） うちが司会がそのまま……。
- 委員（原田素代君） 班長さん。
- 副委員長（治徳義明君） 挨拶をして……。
- 委員（原田素代君） うちもそうだった。だからちょっと違うので、やっぱり共通にしたほうがいいと思いました。
- 委員長（岡崎達義君） 大体最初の挨拶3分とか、そういう基本的なところをね。
- 副委員長（治徳義明君） これ、いつまで。
- 委員（原田素代君） 3月24日まで。
- 委員長（岡崎達義君） 1回班長会を開かんとだめでしょう。だから、議会中にするようになりますよね。
- 委員（松田 勲君） わざわざ出てやるんじゃないくて。
- 委員長（岡崎達義君） 議会中の委員会の後とか……。委員会は今回は当初だからなかなかここはいかんのんかも。
- 委員（原田素代君） まあ、様子見てやりましょう。一般質問が……。
- 委員長（岡崎達義君） また議会が始まったらやってもいい……。
- 委員（原田素代君） 早く終わった日とか。
- 委員長（岡崎達義君） 班会も皆さんで内容を詰めないとだめなんで、班会もまたやってもらうように各班で決めてください。
- 委員（原田素代君） 委員長さんは漏れのないように運営をお願いします。
- 委員長（岡崎達義君） そうしてください。
- ほかにありませんか。
- 議長のほうから何か。
- 議長（小田百合子君） ありません。
- 委員長（岡崎達義君） ほかの方向か気がついたところがありましたら。よろしい。気がついたことがあったらまた私のほうにでも議長のほうにでも言ってください。

○委員（福木京子君） チラシであれといろいろすんじゃけど、議員も知っとる人に参加してんよとか言うとか、多分町内会や区長会では一応ちゃんと議題にと言うてくれるんでしょう。多分それはしてもらえないかと。こういうのをしとくということが大切なからね。

○委員長（岡崎達義君） どっちにしろ班会も開くようになりますし、班長会も開いてもらわんとだめなことがありますので、まだ2カ月ありますからゆっくり、急いで。

○委員（原田素代君） 3月分を入れるのが苦勞しますよね。

○委員長（岡崎達義君） 間に合わんようになりますんでね。

それでは、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡崎達義君） 第1回議会基本条例特別委員会をこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

午後1時45分 閉会